DAINICHI

ブルーヒーター

取扱説明書

<保証書別添付>

ケイ ディー エム エフ
KDM-105F

[強制通気形開放式石油ストーブ]

製品アンケートへのご協力をお願いします
（ご回答はインターネットのみとなります）
回答専用アドレス
http://www.dainichi-net.co.jp/hagaki/
※通信料などはお客様のご負担となります。

目次

ご使用前
- 安全のために必ずお守りください…… 1
- 各部のなまえ…… 5
- 使用する場所…… 7
- 使用前の準備…… 7

使用方法
- 運転を開始するとき…… 11
- 運転モードを切り換えるとき…… 11
- 設定温度/火力を上げるとき・下げるとき…… 12
- 運転を停止するとき…… 12
- 運転を延長・継続するとき…… 13
- タイマー運転を使用するとき…… 14

点検・その他
- 日常の点検・手入れのしかた…… 15
- 保管（長期間使用しないとき）・廃棄のしかた… 17
- 故障・異常の見分けかたと処置のしかた…… 18
- 部品のご注文のしかた…… 21
- 部品交換について…… 21
- 定期点検のおすすめ…… 21
- 仕様…… 22
- 保証とアフターサービス…… 22

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

区分	内容
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

マーク	意味
（禁止マーク）	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
（指示マーク）	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

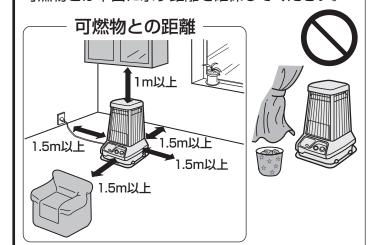
⚠ 危険（DANGER）

ガソリン使用禁止

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

⚠ 警告（WARNING）

可燃物近接厳禁

カーテンや燃えやすいもののそばなどで使用しないでください。
火災の原因になります。
可燃物とは下図に示す距離を確保してください。

換気必要

換気せずに使用を続けないでください。
酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になるおそれがあります。
換気は、換気扇を使用したり、窓や戸などを２カ所以上開けると効率良く行えます。
窓の凍結、地下室など換気が十分に行えない場所では使用しないでください。

1時間に１～２回（１～２分）換気

新鮮な空気

⚠ 警告（WARNING）

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や燃焼空気取入口をふさがないでください。また、ストーブガードをご使用のときは、囲いに干し物を掛けたりしないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。

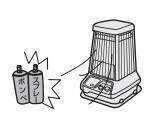
寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

可燃性ガス使用厳禁

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン・シンナー）、スプレー、化学薬品などを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

⚠ 注意（CAUTION）

1 設置

次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

- 振動の激しい場所
- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 風のあたる場所、部屋の出入口、屋外
- 人のいない場所、人があたたまる目的以外での場所（温室、飼育室など）
- 可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所

火災の原因になります。

- 窓の凍結などのため、換気が十分に行えない場所
- 換気設備のない場所
- 暖炉や押し入れなど、ストーブが囲われる場所
- ほこり・湿気・金属粉の多い場所
- 標高1,000m以上の高地

不完全燃焼の原因になります。

- 直射日光のあたる場所
- 理・美容院、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所

故障や予想しない事故が発生する原因になります。

安全のために必ずお守りください

⚠注意(CAUTION)

2 使用時

移動するときの注意

ストーブを移動するときは、火を消して油タンク内の灯油を抜き、傾けないように静かに運んでください。
灯油がこぼれると火災の原因になります。

運搬するときの注意

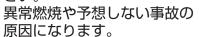
ストーブを運搬するときは、油タンク内の灯油を抜いてください。
運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

異常・故障時使用禁止

油漏れや臭い、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。
異常燃焼や予想しない事故の原因になります。

エアフィルターは必ず使用

エアフィルターを取り外した状態で使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。

シリコーン配合商品を使用しない

ファンヒーター(ストーブ)の故障の原因になることが表示されているヘアケア商品などは、シリコーンが配合されています。ストーブと同時に使用しないでください。
また、注意表示がなくてもシリコーンが配合されている商品(化粧品類、衣類の防水剤・柔軟剤、家具などのつや出し剤・保護剤など)も同時使用は控えてください。
やむなくご使用になるときは、ストーブの運転を一時的に停止し、使用後は、換気を十分に行なってから運転を再開してください。
異常燃焼のおそれや、着火ミスや途中消火、換気ランプ(赤)点滅の原因になります。
シリコーン配合商品が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、ガードなどの高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後はガードなどの高温部に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。特にお子様や、病気の方などがご使用のときは注意してください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

本体内に指や異物を入れない

ガードや放熱筒など本体の中に指や可燃物、針金などの異物を入れないでください。
けがややけどを負ったり、火災や感電の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

3 給油時

不良灯油使用禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油、水やごみが混入した灯油など)などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

給油時消火

火災のおそれがありますので、給油は必ず消火し、火の気のないところで本体が冷えてから行なってください。

給油口ふたを確実に閉める

給油口ふたは確実に閉め、こぼれた灯油は完全にふき取ってください。
火災のおそれがあります。

給油ポンプで給油する

給油は必ず市販の給油ポンプを使用し、バーナ部周辺に灯油をかけないでください。
誤ってかけてしまったときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ
そのまま使用を続けると火災の原因になります。

油量計の「満」を超えての給油厳禁

油量計の「満」を超える給油はしないでください。
誤って灯油があふれ、ストーブ本体内に多量にこぼれたときは使用しないでください。
火災の原因になります。

4 点検・手入れ・保管・廃棄

ほこりの除去

エアフィルターは週に1回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

保管時にしていただくこと

長期間使用しないときや、保管するときは、必ず油タンク内の灯油を抜き、傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。
火災のおそれがあります。

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

廃棄するとき

ストーブを廃棄処分するときは、必ず油タンク内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。17ページ
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。

各部のなまえ

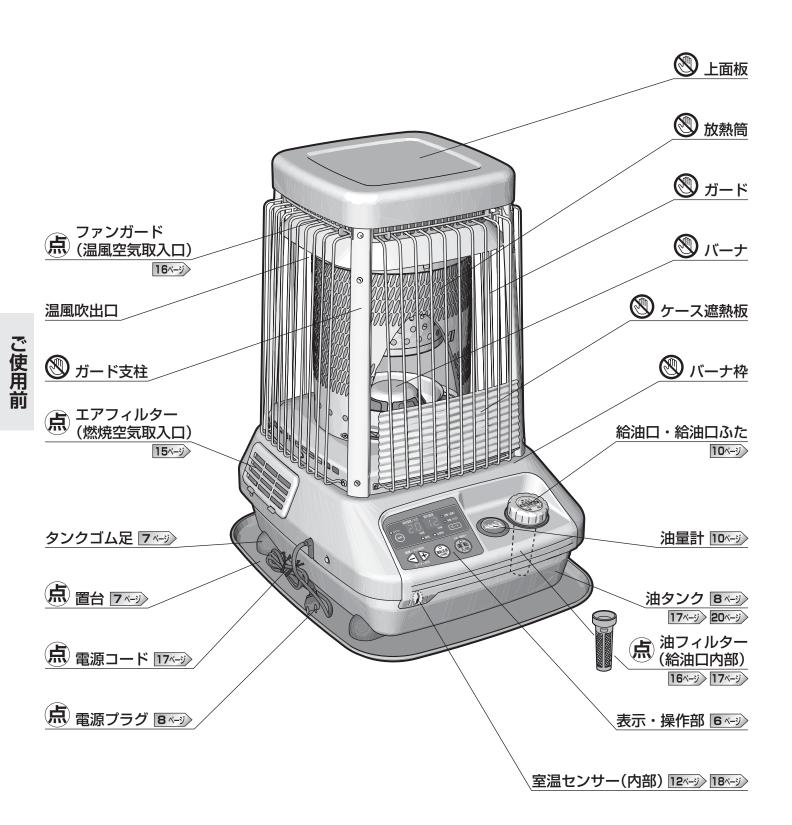
外観図

上面板
放熱筒
ガード
バーナ
ケース遮熱板
バーナ枠
給油口・給油口ふた 10ページ
油量計 10ページ
油タンク 8ページ 17ページ 20ページ
油フィルター（給油口内部） 16ページ 17ページ
表示・操作部 6ページ
室温センサー（内部） 12ページ 18ページ

ファンガード（温風空気取入口） 16ページ
温風吹出口
ガード支柱
エアフィルター（燃焼空気取入口） 15ページ
タンクゴム足 7ページ
置台 7ページ
電源コード 17ページ
電源プラグ 8ページ

（手のマーク） 運転中高温になる部分（ご注意ください）
（点） 点検・手入れが必要な部分

操作・表示部

※表示部は説明のため、すべて表示した状態です。
使用中に、すべて表示することはありません。

デジタル表示部
- 設定温度/火力、室内温度表示 11ページ 12ページ
- タイマー運転開始までの残り時間表示 14ページ
- エラー表示 19ページ

タイマーボタン 14ページ
- タイマー運転のセット・解除を行う

タイマーランプ（緑） 14ページ
- 点灯…タイマー運転待機中
  タイマー運転中
- 点滅…タイマー消火直前
  （10分前から）
  タイマー消火時

水検知ランプ（赤） 19ページ 20ページ
- 点滅…油タンク内に水がたまった

モードボタン 11ページ
- 自動運転と手動運転の切り換えを行う

自動ランプ・手動ランプ（緑） 11ページ
- 自動点灯…自動運転中
- 手動点灯…手動運転中

温度/火力設定ボタン 12ページ
- 温度や火力を設定する

タイマー合せボタン 14ページ
- タイマー運転開始までの時間を設定する

換気ランプ（赤） 19ページ
- 点滅…換気が必要

運転 入/切スイッチ 11ページ 12ページ 14ページ
- 運転の開始・停止を行う
- タイマー運転の解除を行う

運転ランプ（赤） 11ページ 12ページ 14ページ
- 点灯…運転中
- 消灯…運転停止中

消臭消火ランプ（赤） 12ページ
- 点滅…消臭消火中

運転延長ボタン 13ページ
- 押したときからさらに6時間運転を継続する

運転延長ランプ（赤） 13ページ
- 点滅…自動消火直前（10分前から）
- 点灯…自動消火時

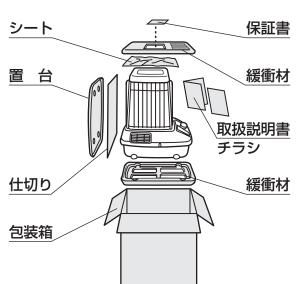
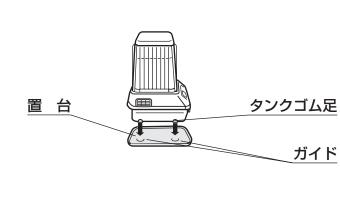
使用する場所

効果的に使用するために

○温風は全方向に吹き出しますので、周囲に温風の循環を妨げるような障害物を置かないようにしてください。
○部屋の中央で使用すると、空気の循環が良くなり効果的です。

使用前の準備

ストーブのセット

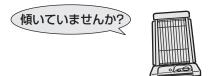
1 包装箱から緩衝材などを取り除き、ストーブと置台を取り出す

2 置台のガイドにタンクゴム足を合わせストーブを置く

お守りください

○包装箱と緩衝材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

○ストーブが傾いた状態では使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

2 油タンクの周囲に油漏れがないか、置台に油のたまりがないか、よく確認する

3 ストーブの周辺に障害物や可燃物がないか確認する

4 電源プラグをコンセント(100V)に差し込む

お守りください

○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。
○電源に発電機を使用するときは、家庭用電源(100V)と同レベルの電源供給ができる機器を使用してください(詳しくは、発電機メーカーに確認してください)。
機器が正常に動作せず、故障の原因になります。

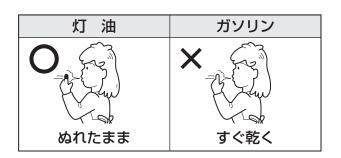
使用前の準備

燃　料

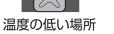
燃料は必ず灯油(JIS１号灯油)を使用してください

ガソリン、不良灯油(変質灯油・不純灯油)は、絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。
(灯油を購入されるときは、SQマークを表示している販売店で購入されることをおすすめします)

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけて、火の気のないところで息を吹きかけてください。

正しい灯油の保管方法

火気・雨水・ごみ・高温・日光を避けた場所で保管する(翌シーズンに持ち越さない)

良い例　悪い例

紫外線を通しにくい色付の灯油用ポリタンク(推奨マーク付)を使用する

乳白色のポリタンク(水用)は使用しないでください。

灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するため、推奨マーク付の灯油用ポリタンクでも日なたには放置しないでください。
変質灯油になります。

屋外でのドラム缶の保管は控える

栓のすき間から水が混入したり、さびが発生します。
やむなくドラム缶で保管するときは、カバーを掛けるなどしてください。
給油時は、水・さびなどの混入がないことを確認してください。

ホームタンクを使用しているときは、年に数回、水抜きを行う

不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは

変質灯油

- ○昨シーズンより持ち越した灯油
- ○温度の高い場所で保管した灯油
- ○日光のあたる場所で保管した灯油
- ○乳白色のポリタンク(水用)で保管していた灯油
- ○容器のふたが開けてあった灯油

不純灯油

- ○水やごみなどが混入した灯油
- ○ガソリン、軽油、シンナー、機械油、天ぷら油などが混入した灯油
- ○灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- ○水抜剤や助燃剤を添加した灯油

不良灯油(変質灯油・不純灯油)の見分けかた

◆上記の「正しい灯油の保管方法」に従って保管されていなかった灯油は、変質灯油の可能性があります。
◆２つのコップで比較し、見分けることができます。
- ○灯油に少しでも色がついていたり、すっぱい臭いのするものは変質灯油です。ただし、保管状態によっては灯油が無色でも変質灯油の可能性があります。
- ○水が下に溜まり、灯油と分離しているものは不純灯油です。

変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときの症状		万一変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときの処置方法
○臭いが強くなる。 ○黄色い炎が混じる。11ページ ○火力が上がらない。 ○消火しにくい。 ○着火しにくい。 ○途中消火する(E02、E03、E13)。	⇨	○灯油を抜き、きれいな灯油で油タンク内や油フィルターを洗ってからご使用ください。16ページ 17ページ ○着火・消火を５回程度繰り返してください。そのとき少し臭いがしますので、換気を十分に行なってください。 ○それでも直らないときは修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

メモ

○不良灯油(変質灯油・不純灯油)が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

給油のしかた

給油は必ず消火し、火の気のないところで本体が冷えてから行なってください

1 給油口ふたを外し、市販の給油ポンプを給油口に奥まで差し込む

お守りください

○給油は必ず市販の給油ポンプを使用してください。
ポリタンクのノズルから直接給油しないでください。
○油フィルターは必ず使用してください。
使用しないと油タンク内に不純物が混入し、故障の原因になります。

2 油量計の「満」を超えないようゆっくりと給油する

3 給油口ふたを確実に閉め、給油口のまわりにこぼれた灯油は完全にふき取る

メモ

○別売りのオイルパスを用意しています。21ページ
オイルパスを使用すると給油タンクから直接灯油を供給できます。オイルパスのご購入・取り付けについては、お買い上げの販売店などにご相談ください。
取り付けには工事が必要です。

運転を開始するとき

自動ランプ
手動ランプ
モードボタン
温度/火力設定ボタン
タイマー合せボタン
運転ランプ
消臭消火ランプ
運転 入/切スイッチ

運転 入/切スイッチを押し、運転を開始します

運転停止中に

を押す

約80秒後に着火します。

○着火するとき「カタン」という電磁弁が開く音がしますが、異常ではありません。

○運転ランプ(赤)が点灯します。
○設定温度と室内温度を表示します(室内温度は、１℃から表示し、0℃以下のときは「Lo」を表示します)。

炎の状態を確認する

○正常燃焼

○青い炎で燃焼する。ときどきチラチラと赤い炎がでることがありますが、異常ではありません。
(空気中のほこりが燃えるためです)

×異常燃焼

○炎の中に常に黄色い炎が現れる。

処置を行なってください。 20ページ

メモ

○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、煙や臭いが出ることがあります。１時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。
オレンジ色の炎が出るときは、しばらくの間、燃焼を続けているとおさまります。

運転モードを切り換えるとき

自動運転と手動運転の２通りがあります。
モードボタンを押すことによってお好きな使いかたをお選びいただけます。

を押す

○初めてお使いになるときや、電源プラグを抜いたときは、自動運転になります。

◆自動運転
○設定温度と室内温度により自動的に火力を変え運転します(**自動ランプ(緑)**が点灯)。

◆手動運転
○常に設定した火力で運転します(**手動ランプ(緑)**が点灯)。

設定温度/火力を上げるとき・下げるとき

自動運転

温度/火力設定ボタンを押し、お好みの温度に調節する

○温度は12～30℃の範囲と、「Lo」(常に小火力)、「Hi」(常に大火力)に設定できます。

手動運転

温度/火力設定ボタンを押し、お好みの火力に調節する

○火力は１～10の10段階で設定できます。数字が大きいほど火力は大きくなります。

設定を上げるとき

運転中に ＋ を押す（ポピッ）

設定を下げるとき

運転中に － を押す（ピポッ）

メモ

○温度/火力設定ボタンは、押し続けると早送りができます。
○狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに、室内温度が上がり過ぎてしまうことがあります。そのときでも燃焼を続けていますので、あついと感じたときは運転を停止してください。

○室内温度の表示は、室温センサーで検知した室内温度の目安です。設置方法などにより温風の循環が影響し、寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、自動運転の設定温度と手動運転の火力設定が解除されます。再度、調節してください。

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押し、運転を停止します

運転中に

を押す

約５秒後に消火します。

○必ず火が消えたことを確認してください。
○消火するとき「カタン」という電磁弁が閉じる音がしますが、異常ではありません。

○約５秒間、消臭消火ランプ(赤)が点滅します。

消臭機能

消火するときに発生する臭いの原因となる未燃ガスの発生を抑える機能です。
消臭機能が動作しているとき、**消臭消火ランプ(赤)**が点滅してお知らせします。
○**運転 入/切スイッチ**を押すと、約５秒間、未燃ガスを燃焼させてから消火します。
○異常停止や短時間での運転では消臭機能は動作しません。

お守りください

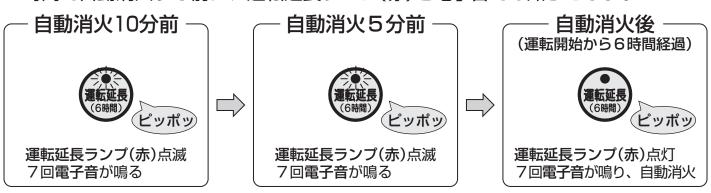
○消火は必ず運転 入/切スイッチで行なってください。
また、運転停止後３分間は、本体を冷やすためファンが回っていますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

運転を延長・継続するとき

消し忘れによる万一の事故を防ぐため、運転開始後、６時間で自動消火します

燃焼残り時間をお知らせするとき

６時間で自動消火する前に、運転延長ランプ(赤)と電子音でお知らせします

自動消火10分前	自動消火５分前	自動消火後（運転開始から６時間経過）
運転延長ランプ(赤)点滅 ７回電子音が鳴る	運転延長ランプ(赤)点滅 ７回電子音が鳴る	運転延長ランプ(赤)点灯 ７回電子音が鳴り、自動消火

自動消火せずに運転を継続するとき

運転中に

○燃焼残り時間のお知らせに関係なく、運転延長ボタンを押したときから、さらに６時間運転を継続します。

お守りください

○継続して長時間運転するときは、お部屋の換気に十分注意してください。1ページ
○寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転 入/切スイッチで消火してください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

タイマー運転を使用するとき

タイマー運転をセットする

1 運転 入/切スイッチを押す（運転中は押す必要ありません）

○運転ランプ(赤)が点灯します。

2 温度/火力設定ボタンで設定温度・火力を合わせる

3 タイマーボタンを押す（ピッと鳴るまで約１秒間押し続ける）

○タイマーランプ(緑)が点灯します(運転中は運転が停止します)。
○タイマー運転開始までの時間が表示されます。
初めてご使用のときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、「12:00」を表示します。

4 タイマー合せボタンを押し、時間を合わせる

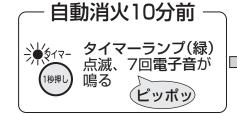
○何時間後に運転開始させたいかを計算し、時間を合わせる。
時間は最大24時間後まで10分単位で合わせられます。
○設定した時間はマイコンに記憶されますので、次回セット時に便利です。

メモ
○タイマー合せボタンを押し続けると早送りができます。

《例》現在時刻……………午後10時
タイマー運転を開始させたい時刻……………午前６時30分
↓
タイマー運転を開始するまでの時間…８時間30分後に合わせる

メモ
○タイマー運転をセットしてから運転 入/切スイッチ、またはタイマーボタンを押すと、タイマー運転が解除されますので、ご注意ください。
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したとき、地震や強い振動・衝撃を受けたことにより安全装置が作動したときは、もう１度 1 からセットしてください。

セットした時刻になるとタイマー運転開始

設定した時刻になると自動的にタイマー運転を開始し、安全のため１時間で自動消火します。自動消火する前にタイマーランプ(緑)と電子音でお知らせします。

自動消火10分前	自動消火５分前	自動消火後（タイマー運転開始から1時間経過）
タイマーランプ(緑)点滅、7回電子音が鳴る	タイマーランプ(緑)点滅、7回電子音が鳴る	タイマーランプ(緑)点滅 7回電子音が鳴り、自動消火

タイマー運転を解除する

タイマー運転待機中

○タイマーランプ(緑)が消灯します。

タイマー運転中

（タイマーボタン）を押す

○タイマーランプ(緑)が消灯し、運転を継続します。

日常の点検・手入れのしかた

お守りください

○点検・手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜き点検・手入れを行なってください。また、分解はしないでください。
火災ややけどのおそれがあります。

ご使用のたびに

本体の周辺に可燃物はないか

油漏れ・油のたまり・油のにじみはないか

異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

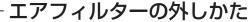
本体のごみやほこりをふき取る

柔らかい布でからぶきするか、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
本体をベンジン・シンナーなどでふかないでください。

週に１回以上は

エアフィルターのほこりを取る

エアフィルターのほこりは、掃除機などで吸い取ってください。
汚れがひどいときは、洗剤などを使って浸け置きし、水で洗い流してください。

エアフィルターの外しかた

１カ月に１回以上は

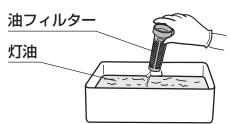
対震自動消火装置の点検

燃焼中に本体をゆすり、消火するか確認してください。
消火しないときは修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

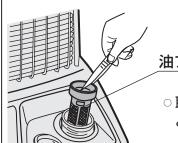
ファンガードのほこりを取る

ファンガードのほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

油フィルターの点検・掃除をする

油フィルターがごみで目づまりしているときは、きれいな灯油ですすぎ洗いし、ごみなどを取り除いてください。

洗浄後の灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。洗浄後の灯油を使用すると故障の原因になります。

油フィルターの外しかた

○油フィルターが外れ難いときは、ピンセットやラジオペンチなど先端が細いもので挟み、持ち上げてください。
指を入れて無理に外そうとすると、けがをするおそれがあります。

○取り出すときは、灯油などで床や衣服を汚さないよう注意してください。

保管（長期間使用しないとき）・廃棄のしかた

次の手順に従ってストーブを保管してください

1 電源コードを束ねる

2 油タンク内の灯油を抜く

○油フィルターを取り除き、市販の給油ポンプなどで、油タンク内の灯油を抜いてください。
（給油ポンプの先を平らにカットすると、抜き取りやすくなります）

メモ

○別売のスポイトを用意しています。スポイトを使用すると、市販の給油ポンプなどで抜けきらなかった灯油が抜き取りやすくなります。21ページ

スポイト
400円（税抜）

3 油フィルター・エアフィルター・ファンガードの掃除をする 15ページ 16ページ

4 ストーブ本体の汚れをふき取る 15ページ

5 ストーブを包装箱に入れる

○湿気の少ない場所に保管してください。

お守りください

○ストーブを傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。
抜けきれなかった灯油が漏れ、火災のおそれがあります。
○油タンク内の灯油を抜かずに保管すると、灯油が変質し、故障のおそれがあります。
○灯油は翌シーズンに持ち越さず、使いきるようにしてください。
○電源プラグをコンセントに差し込んだまま保管しないでください。
何らかの原因で運転スイッチが入ってしまうと火災のおそれがあります。

廃棄するとき

○ストーブを廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
○必ず油タンク内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。
○灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう１度ご確認ください。

○着火時

症　状	原　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約80秒必要です。 ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 ２、３回着火動作を繰り返してください。
「カタン」と音がする	着火するための動作音です。 異常ではありません。
初めて使用するときや灯油がなくなり、再び着火するとき白煙が出る	灯油の気化ガスがバーナに充分回らないと、このような症状が出ることがありますが、異常ではありません。

○燃焼時・消火時

症　状	原　因
初めて使用するときオレンジ色の炎や煙、臭いが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。煙や臭いは１時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。 オレンジ色の炎は、しばらくの間、燃焼を続けているとおさまります。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。 水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
設定温度を高めに設定しても室内温度が上がらない	部屋が広すぎるときに起こります。
室内温度が設定温度より高くなる	狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに室内温度が上がり過ぎてしまうことがあります。そのときでも燃焼を続けていますので、あついと感じたときは運転を停止してください。
室内温度表示が部屋の寒暖計と一致しない	室内温度の表示は、室温センサーで検知した室内温度の目安です。 設置方法などにより温風の循環が影響し、寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
運転中や消火直後に「ポコ」、「パキッ」などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
運転停止後、約５秒後に「カタン」と音がする	消火時の動作音です。 異常ではありません。

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現れたときは、適切な処置を行なってください

表示部(エラー表示)	原因(安全装置)	処置方法
全消灯 E 00	○電源プラグが抜けたため、自動消火した。 ○一時停電したため、自動消火した。 **(停電安全装置が作動)**	電源プラグを確実にコンセントに差し込み、**運転入/切スイッチ**を押し直す。 8ページ
E 01	○本体を傾けたため、自動消火した。 ○地震(約震度5以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動消火した。 **(対震自動消火装置が作動)**	○水平な場所に設置する。 8ページ ○周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E 02 E 03	○灯油がなくなった ○油タンク内に水やごみがたまったため、着火ミスしたり、自動消火した。 **(点火安全装置が作動)** **(燃焼制御装置が作動)**	○灯油がないとき・・・給油する。 10ページ ○灯油があるとき・・・市販の給油ポンプなどでタンク内の水やごみを取り除き、**運転入/切スイッチ**を押し直す。 20ページ ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
E 07	室内温度が異常に高温(40℃以上)になったため、自動消火した。 **(室温異常高温防止装置が作動)**	設置方法を確かめ、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 1ページ
E 09	温風空気取入口が物でふさがれたり、ほこりがたまったため、自動消火した。 **(過熱防止装置が作動)**	○温風空気取入口の障害物を取り除き、掃除したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 16ページ ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
E 13 換気	密閉した部屋で使用したとき、不完全燃焼(部屋の空気の異常状態)を防止するため、自動消火した。 **(不完全燃焼防止装置が作動)**	部屋の空気を入れ替えてから**運転 入/切スイッチ**を押し直す(使用中は必ず1時間に1～2回換気する)。 1ページ
	シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着したため、自動消火した。 3ページ	お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
-HHH- (1秒点滅)	換気しないで使用を続け、不完全燃焼防止装置が連続して4回以上作動したため、自動消火した。 **(不完全燃焼通知機能が作動)**	○部屋の空気を入れ替えてから電源プラグをコンセントに差し直し、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 ○繰り返し作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
-HHH- (0.2秒点滅)	さらに不完全燃焼防止装置が3回作動したため、自動消火し、点火できなくなった。 **(再点火防止機能が作動)**	点検・修理が必要です。 お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
水検知	油タンク内に水がたまった。 **(水検知装置が作動)**	市販の給油ポンプなどで油タンク内の水を取り除き、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 20ページ
運転延長ランプ(赤)点灯	燃焼を開始してから6時間が経過したため、自動消火した。 **(消し忘れ消火装置が作動)**	**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 13ページ
運転ランプ(赤)点滅 運転延長ランプ(赤)点滅 Err	**運転 入/切スイッチ**が押し続けられたため、自動消火した。	表示・操作部周辺の障害物を取り除き、電源プラグをコンセントに差し直してから**運転入/切スイッチ**を押し直す。
上記以外のエラー (例:F 00、F 0d)	点検・修理が必要な故障です。	表示内容を控えたあと、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ

症状	原因	処置方法
ボタンを押しても反応しない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。 8ページ
換気ランプ(赤)の点滅が止まらない	部屋の換気が不十分。	換気を十分に行う(使用中は必ず1時間に1～2回換気する)。 1ページ
	シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着した。 3ページ	お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
火力が上がらない	油タンク内に水やごみがたまっている。	油タンク内の水やごみを取り除く。 下記メモ参照
	変質灯油・不純灯油を使用した。 9ページ	○灯油を抜き、きれいな灯油で油タンク内や油フィルターを洗う。 16ページ 17ページ ○着火・消火を5回程度繰り返す。そのとき少し臭いがしますので、換気を十分に行なってください。
異常燃焼を起こす 11ページ	変質灯油・不純灯油を使用した。 9ページ	
	部屋の換気が不十分。	換気を十分に行う(使用中は必ず1時間に1～2回換気する)。 1ページ
	エアフィルターにほこりがたまった。	エアフィルターの掃除をする。 15ページ
臭いが強い	灯油がなくなった。	給油する。 10ページ
	変質灯油・不純灯油を使用した。 9ページ	灯油を抜き、きれいな灯油で油タンク内や油フィルターを洗う。 16ページ 17ページ
	灯油がこぼれたり、漏れている。	使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ

処置を行なっても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

メモ

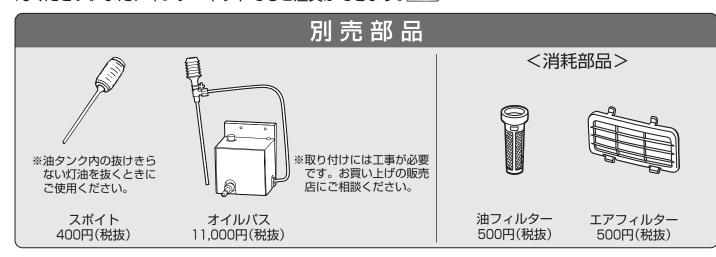
油タンク内への水混入について

○油タンク内に直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露により油タンク内に水がたまることがあります。
○油タンク内に水が混入したときは、水検知が作動(水検知ランプ点滅)し、異常停止します。
市販の給油ポンプで油タンク内の水を完全に抜き取ってください。

油タンク内の水やごみの取り除きかた

部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型式の呼び・部品名をはっきりとお伝えください。また、インターネットでもご注文ができます。裏表紙

別売部品

この部品は本ストーブ用です。他の機器では使用しないでください。
また、価格は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

部品交換について

部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店、または修理資格者(一般財団法人日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など)のいる店などにご依頼ください。

お守りください

○修理・部品交換は、お客様自身では絶対に行わないでください。
けがややけどのおそれがあります。

定期点検のおすすめ

２シーズンに１回の定期点検(有料)をおすすめします。

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者(一般財団法人日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など)のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

愛情点検	長年ご使用のストーブの点検を！	
こんな症状はありませんか	・油漏れする。 ・強い臭いがする。 ・運転中に異常な音がする。 ・その他の異常や故障がある。	ご使用中止　事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕様

項目		仕様
型式の呼び		KDM-105F(FM-105F)
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		ヒータ点火
使用燃料		灯油(JIS１号灯油)
燃料消費量	最大	10.0 kW(0.972 L/h)
	最小	3.50 kW(0.340 L/h)
暖房出力	最大	10.0 kW
	最小	3.50 kW
騒音(正面)	大火力	45 dB
	小火力	34 dB
油タンク容量		13.0 L
燃焼継続時間	大火力	13.4 時間
	小火力	38.2 時間
標準適室	木造	43.0 m² (26 畳)
	コンクリート	58.0 m² (35 畳)
外形寸法(高さ×幅×奥行)		665 mm×456 mm×546 mm (置台を含む)
質量		約16.4 kg
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz
定格消費電力	最大	935/935 W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時	265/265 W(大火力時)
		140/140 W(小火力時)
	待機時	1.1/1.1 W
電流ヒューズ		5 A
安全装置		停電安全装置、対震自動消火装置、燃焼制御装置、点火安全装置 不完全燃焼防止装置、過熱防止装置
その他の装置		室温異常高温防止装置、水検知装置、消し忘れ消火装置
付属品		置台

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください

保証について

●保証書(別添付)

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。なお、消耗部品(油フィルター・エアフィルター)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ストーブの補修用性能部品は、製造打切り後９年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従ってお調べください。18ページ 19ページ 20ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのときは、右の事項をご連絡ください。

品　　　名：ダイニチブルーヒーター
型式の呼び：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

●保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

お守りください

○修理などでストーブを運搬するときは、必ず油タンク内の灯油を抜いてください。
運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。17ページ

ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220
＜受付時間＞
11月～ 1月　9:00～19:00
(土は～17:00、日・祝日・年末年始は休み)
2月～10月　9:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝日は休み)

インターネットからのお問い合わせ
＜24時間受付＞

「お客様サポート/お問い合わせ」
http://www.dainichi-net.co.jp/support/

※型式の呼び(本体背面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①修理やその確認業務を委託する場合
　②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

KDM－105F・07・*,000・1